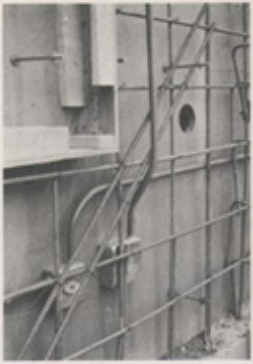
電気設備

■外壁に埋込んだ配管①



内容 電気用配管の外壁への埋込みは、よく行われている。配管の埋込み位置、管の大きさ、本数などにより埋込んだコンクリートの位置に、将来ひびわれの発生する原因になる場合がある。

外壁の表面が、打放し仕上げの場合では特に漏水事故につながることがある。

コンクリートボックスは、内側に取付いているが、配管をわざわざ外側に折曲げて出してある。配管は、鉄筋の内側に入れておきたい。

内容 外壁に埋込んだコンクリートボックスの配管が、ダブル配筋の中に入っている良好例。

設計

外壁のコンクリートの中には、できるだけ配管をしたくない。しかしやむを得ない場合には、壁配筋の内側に埋込むか、埋込んだ管の周囲にワイヤーメッシュなどで補強するなどして、ひびわれ発生に対して十分に注意したい。

MEMO